

令和2年8月臨時教育委員会会議録

1. 日 時 令和2年8月18日（火）午後2時
2. 場 所 泉佐野市役所5階 第一会議室
3. 出席委員
- | | |
|----------|---------|
| 教育長 | 奥 真弥 |
| 教育長職務代理者 | 赤坂 敏明 |
| 委 員 | 南 一早枝 |
| 委 員 | 畑谷 扶美 |
| 委 員 | 山下 潤一郎 |
| 委 員 | 中村 スザンナ |
| 委 員 | 甚野 益子 |
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
- 泉佐野市立学校教科用図書選定審議会
- | | |
|-----|-------|
| 会 長 | 神於 正博 |
| 副会長 | 前原 義高 |
| 委 員 | 山岡 史賢 |
| 委 員 | 中村 絵里 |
| 委 員 | 古谷 秋雄 |
| 委 員 | 大倉 弘之 |
| 委 員 | 安部 秀文 |
| 委 員 | 山本 博 |
-
- | | |
|-------------------|--------|
| 教育部長 | 本道 篤志 |
| 学校教育課長 | 木ノ元 直子 |
| 学校教育課学校指導担当参事 | 和田 哲弥 |
| 学校教育課人権教育担当参事 | 渡辺 健吾 |
| 学校教育課指導主事 | 古谷 大助 |
| 教育総務課長 | 川崎 弘二 |
| 教育総務課教職員担当参事 | 十河 統治 |
| (庶務係) 教育総務課長代理兼係長 | 田倉 元 |
| 5. 本日の署名委員 委 員 | 山下 潤一郎 |

議事日程

議案第 26 号 令和 3 年度使用泉佐野市立中学校教科用図書選定について（学校教育課）

※以下、「中村委員」…中村スザナ教育委員、「中村絵里委員」…中村絵里泉佐野市立学校教科用図書選定審議会委員

（午後 2 時 00 分開会）

奥教育長

ただ今から令和 2 年 8 月の臨時教育委員会議を開催します。

本日は 23 名の方から傍聴の申込みがあり、許可致したいと思いますが、いかがでしょうか。

（各委員 「異議なし」の発言あり）

それでは傍聴を許可いたします。

〔傍聴席 モニター画像・音声出力〕

本日の傍聴席は、新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるため、別室 2 部屋を用意しておりますので、モニター画面と音声による傍聴とさせていただきます。

本日は委員全員が出席をされていますので、会議が成立しております。

本日の会議録署名委員は山下委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

議案第 26 号「令和 3 年度使用泉佐野市立中学校教科用図書選定について」を議題といたします。

本日は、令和 2 年 5 月 26 日に、泉佐野市立学校教科用図書選定審議会に諮問いたしました「令和 3 年度使用泉佐野市立中学校教科用図書」に関する答申をいただき、「令和 3 年度使用泉佐野市立中学校教科用図書」を決定することとなっております。

教育委員会といたしましては、審議会委員のみなさま及び調査員のみなさまが教科用図書の調査研究に多大な時間をかけていただいたこと、また、審議会においても十分ご審議いただいたことに、改めて感謝の意を表します。ありがとうございました。

それでは、神於会長より答申をいただきたいと思ひます。神於会長よろしくお願ひいたします。

神於会長

審議会の神於でございます。

令和 2 年 5 月 26 日、教育委員会より諮問されました「令和 3 年度使用泉佐野市立中学校教科用図書選定」に関する調査、審議の結果について答申いたします。

〔神於会長、答申書をもって前に進み、教育長に手渡す〕

奥教育長

本当にありがとうございました。

では、神於会長の方から審議の結果につきまして説明をよろしく願いいたします。

神於会長

お手元の答申をご覧ください。

なお、先日の定例教育委員会議でご了承いただきましたように、今回の答申については、審議会でご覧のとおり2者ないし3者を選び、審議会としての優先順位をつけたものでございます。その優先順位には総合評価を具体的に記しておりますので、ご参照いただければと存じます。

また、優先順位上位3者以外の発行者については、その後に、発行者番号順に総合評価を記してありますことを申し添えます。

この後、審議会より種目ごとにご報告させていただきますが、今回、どの種目の教科書も次年度より本格実施となる新しい学習指導要領に則り、各教科の目標や指導事項など、生徒の興味や関心を喚起させ、学習意欲を高めながら、いかにわかりやすく理解させるかということについて、独自の創意工夫が随所に盛り込まれており、明確に差別化を図ることが難しい種目もありました。併せて、それぞれの種目について調査員から報告を受け、各学校からの調査報告も加味し、審議を進めました。

簡単ですが、全体の報告は以上でございます。

奥教育長

ありがとうございました。これ以降は、種目ごとに報告をいただき、一つずつ採択をしてみたいと思います。はじめに、「国語」の審議結果について、説明をよろしく願いいたします。

安部委員

それでは、審議会委員の安部より審議の結果についてご説明いたします。

国語ですが、発行者が4者ございます。

国語では、生徒が中学校3年間で学ぶ教材の内容や配列が適切かどうか、また、生徒が興味を持って取り組むことができるものになっているかという観点で調査を行いました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 東京書籍株式会社、2位 株式会社三省堂、3位 光村図書出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。国語についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

畑谷委員

調査員の皆さま、審議会員の皆さま、長時間に渡りありがとうございました。

現在東京書籍を使用していますが、次も東京書籍を優先されていますが、その決め手となったのは具体的にどのような点ですか。

安部委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の安部よりご説明いたします。

東京書籍では、馴染みのある教材が多いことや、導入にわかりやすい漫画を利用しているなど、生徒の興味を引きやすい内容になっており、生徒が無理なく学習を進めることができるという点があります。また、1年生の最初の教材では、文字のサイズが大きく、文章量も抑えているなどの工夫があり、小学校との段差を小さくすることで、生徒が中学校での学習をスムーズにスタートできるような配慮がされている点も挙げられます。

さらに、生徒が取り組みにくい古典の単元では、カラーの写真や資料などが準備されており、生徒が興味を持って取り組むことができるように工夫されており、総合的に判断した結果、東京書籍を推薦することとなりました。

奥教育長

畑谷委員、よろしいですか。

畑谷委員

それについても一つ。私も教科書を全部拝見しましたが、東京書籍は字の大きさ、手引きを見ましても、読みやすくわかりやすいと感じましたが、ふり仮名が多いように感じました。ふり仮名に頼りすぎて、漢字を覚えるという点では、生徒が自分で調べることなく、漢字に馴染み難くなるのではと懸念されたのですが、いかがでしょうか。

安部委員

ふり仮名の量について、やや多いかなという部分はございますが、適切な範囲の中であると判断いたしました。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

山下委員

畑谷委員の言われた通り、文字の大きさ、量は適切だと思います。解説の量と内容も妥当であったと思いますし、テーマごとの題材に使われている作品も適していると思いました。他者は解説がちょっと複雑で、量も多く、読みにくいと僕は感じたので、東京書籍でよいのではないかと思います。

奥教育長

他にございませんか。

南委員

畑谷委員と同じく、ふり仮名が多い点が一番気になったところです。各行にポイントがふってあり、行数がわかりやすいと評価しておられますが、それは東京書籍だけの特色でしょうか。

安部委員

それぞれの出版社でも工夫がございいますが、やはり学校現場の声からも現在使用している東京書籍のポイントのふり方が活用しやすいとご意見をいただいております。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

赤坂委員

国語は全教科の中でも「話す・聞く」「書く」「読む」力を養って、各教科の総合的な礎の教科だと思っています。その4つの力を上手く育てている教科書というのは、僕も東京書籍がいいと思うのですが、東京書籍と他の教科書でどのような差が出てきているのかお聞きしたい。

安部委員

本市ではこれまで、自分の考えを書いたり述べたりする点で生徒の課題があると、そういう部分でご指摘があった部分を考えますと、東京書籍では、各教材で「言葉の力」を設定しており、「話す・聞く」「書く」「読む」という3領域をバランスよく学習でき、その内容に関連付けて、既習事項を活用する課題が準備されています。また、巻末には国語の学習を支える力をつけるための「基礎編」というページが準備されており、生徒の実態に応じて工夫しながら自ら学習を進めることができるため、適切であると考えられます。

赤坂委員

もう一つ。本市の学力調査状況からしますと、国語も低めの結果が出ております。光村図書出版や三省堂は少しレベルが東京書籍よりも上で、本市としては東京書籍の方がわかりやすく学習できるのではないかと考えているのですが、いかがでしょうか。

安部委員

先ほど述べたことと重なるかもしれませんが、1位で推薦させていただいている東京書籍は一番バランスよく、指導がしやすい教科書であると考えております。2位の三省堂も特に1年生の教材などでは優れた教材が多いという声もいただいているのですが、全ての学年を通してバランスの良い配置になっているのは東京書籍ではないかと判断をしております。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

甚野委員

国語の教科書において、東京書籍、三省堂、光村図書出版の3者、どの会社の教科書の内容も切磋琢磨されているように感じました。東京書籍を1位に推薦するとなった場合、いただいた資料に「⑥現在、泉佐野市で採択されている教科書であり」という文章があると、現在使っている教科書を優先して選択したと捉えられかねないような気がします、いかがでしょうか。

安部委員

現在使用しているからという訳ではございません。ただ教材的には馴染みが多い教材ということもございますけれども、ご指摘のあるように現在採択されているという事が、そのように捉えられているということであれば、不適切であったかと思えます。現在使っているから、優先順位が高いわけではなく、全体を比較したときに一番バランスよく配列されているということで、今回推薦させていただきます。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

中村委員

2位の三省堂について、私が注目していたのは1年生の教科書の37ページに日本語と英語の音節について解説の記事がありました。他の科目と連携してというポイントで、母音、子音、音声、音節の仕組みをわかりやすく解説されていました。泉佐野市は海外との交流事業もありますので、中学生が国語と英語を文法的に学んでいく時に、向こうとの会話の中で例えば手遊びのような感じでグリコ、じゃんけんの遊びの時に、日本だと「パ、イ、ナ、ツ、プ、ル」と遊びますが、向こうではそういう切り方をしないので、その辺りは現場の先生が工夫をされて、ご指導されるのかなと懸念したものですから、三省堂さんだと工夫しやすい教科書だったのかなと思えますが、いかがでしょうか。

安部委員

その点を取り上げますと、三省堂の英語との関わりについての記述といい、日本語との語順の違いであったり、発音の違いであったり、留意されている点は、非常に優れている点だと我々も思っております。ただし、東京書籍においても、その程度ではないにしても、英語との関わりについて、あるいは音声等の仕組みについて取扱いしておりますので、指導の仕方によって十分カバーできるものと考えております。

奥教育長

ありがとうございました。「国語」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。先ほどの中からご意見もいただいておりますが、討論でご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

奥教育長

無いようでございますので、それでは、採択に入ります。

種目「国語」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(国語)」は、「東京書籍」を採択することに決定いたしました。

次に「書写」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願います。

安部委員

それでは、書写についても審議会委員の安部より審議の結果についてご説明いたします。

書写ですが、書写は発行者が4者でございます。

書写では、生徒が主体的に取り組むことができるようになっているか、また、生徒にとって分かりやすい構成となっているかという観点で調査を行いました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 株式会社三省堂、2位 光村図書出版株式会社、3位 教育出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。書写についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

中村委員

私がよくポイントとして見させていただくのが、もともと左利きで書道に取り組まないといけない生徒さんのことです。各4者とも左手の生徒さんに向けての説明、指示、指導、写真などありませんでした。現場の先生方が工夫されて、対応されていると思うのですが、選ばれた三省堂さんではどうだったのでしょうか。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

安部委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の安部よりご説明いたします。

三省堂につきましては、例えば硬筆の教材におきましては、手本が上部に配置されており、右利き、左利きの利き手に関わらず、手本を見ながら書くことができるという、すべての生徒にとって学習しやすいように配慮されているのではないかと考えております。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

赤坂委員

現在使用しているのは光村図書出版の教科書ですが、今回は三省堂を推薦されています。前回の5年前の評価は5番目ということ、また5年前の大阪府の採択地区の結果を見ますと光村図書出版が13地区採用されており、三省堂は2地区と、5社の中で一番数が少ない。5年前と比べて三省堂が改善された、推薦された理由をお聞かせいただきたい。

安部委員

他の出版社の教科書も工夫されており、大変素晴らしいと思うのですが、今回推薦させていただいた三省堂では、自分の文字をよりよくして、生活の中で生かせるように学習内容が編集されています。各教材が見開き2ページで構成されており、学習内容が見やすいため、生徒にとって見通しを持ちやすく、主体的に学習が進めやすくなっていることが利点として挙げられます。また、手本の字形が整っており、にじみやかすれが目立たず、審議会では4者のなかで最も美しく書かれていると判断しました。以上のようなことから三省堂の教科用図書を推薦させていただくこととなりました。

赤坂委員

私自身も、前回は三省堂の印象は悪くなかったので、今年採用の優先順位が高いのは私も評価をしています。三省堂が妥当だと意見を述べさせていただきます。

奥教育長

他にございませんか。

甚野委員

冒頭で見やすいなど何項目かで調査されたとおっしゃったのですが、その調査の対象は現在の中学生に対して調査を行ったのでしょうか。

安部委員

教科書そのものを対象に調査したということです。

奥教育長

もう一度お願いできますか。

甚野委員

一番最初の時に、何項目かについて調査をされたとおっしゃったように思うのですが。

安部委員

調査というのは教科書について、審議をした、中身を調査したということで、生徒にアンケートを取ったという意味ではございませんので。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

奥教育長

ありがとうございます。「書写」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

奥教育長

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「書写」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「三省堂」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(書写)」は、「三省堂」を採択することに決定いたしました。

次に「地理」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしくお願いいたします。

前原委員

それでは、審議会委員の前原より審議の結果についてご説明いたします。

地理ですが、発行者が4者でございます。

地理では、記載内容や資料も含めて生徒にとって読み取りやすく、理解しやすいか。また、発展学習や家庭での自主学習がしやすいものになっているかななどを重視しました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 株式会社帝国書院、2位 教育出版株式会社、3位 日本文教出版株式会社、4位 東京書籍株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございます。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。地理についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

山下委員

4者とも領土について、「過去の経緯が記載されている」が共通の項目として書いてあります。それ以外のことで前回使われていた帝国書院を選んだ第一の理由を教えてくださいと思います。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

前原委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の前原よりご説明いたします。

領土につきましては、お話がありましたようにどの会社におきましても、日本固有の領土ということで、写真や地図または歴史的な経緯もきちんと記述されて説明がされております。ほぼ4者とも同じ様な取り扱いとなっております。

審議で重点としましたもう一つの、「発展学習や家庭での自主学習でも生徒が活用しやすいものかどうか」におきまして例えば、2位に推薦させていただいた教育出版は、世界の気候というところでは発展的な課題として、「世界の気候帯の特徴についてまとめよう」という課題の出し方をされています。1位に推薦させていただきました帝国書院では、世界の気候の発展的な課題として、「各気候帯の特徴を気温や降水量と関連付けて説明しよう」という課題の設定のされ方をしています。これはどの生徒においてもここで学習したことを活用して、それをさらに深められるように、そういう発展的な課題の提示の仕方をしています。

そのほかにも写真、地図、大変見やすい色使いで工夫もされております。発展的な課題につきましても、生徒が取り組みやすいような課題の提示の仕方、今よくありますQRコードを使っても、家庭でもより学習が深められるような工夫も帝国書院では十分にされておりますので今回1位に推薦させていただきました。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

赤坂委員

日本が抱えている領土問題については、山下委員の質問に重複しますので置いておきますが、世界の領土問題、紛争、国境線の線引きについての優れている教科書というのは帝国書院が優れていると思いますが、その点の他の教科書の評価というのはいかがですか。

前原委員

今ご質問をいただいたことと関連しますが、どの教科書会社さんもSDGsと言いまして、5年ほど前、国連で世界で取り組むべき課題、発展持続可能な世界を実現するためにという課題をどの教科書も載せております。その中の一つに紛争についても取り上げられております。中学生という多感な年齢の生徒たちに世界の中の日本、または世界の中での自分として、そういう課題に取り組めるような取り上げ方はどの発行者さんもされておりますが、その中でもわかりやすく、写真の資料だとかを使って見やすく取り扱いやすくされているのが帝国書院であると1位にさせていただきました。

奥教育長

ありがとうございます。「地理」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

奥教育長

無いようでございますので、それでは、採択に入ります。

種目「地理」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました「帝国書院」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(地理)」は、「帝国書院」を採択することに決定いたしました。

次に「地図」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしくお願いいたします。

前原委員

それでは、地図についても審議会委員の前原より審議の結果についてご説明いたします。

「地図」ですが、地図は発行者が2者でございます。

地図では、写真や統計資料を含めた情報量の豊富さや、読み取りやすさ。また、内容についても生徒の思考の流れに沿ったものであるかなどを重視しました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 株式会社帝国書院、2位 東京書籍株式会社」でございます。以上です。

奥教育長

ありがとうございます。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。地図についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

畑谷委員

地図に関して帝国書院は馴染みがあっていいなと思いました。統計資料や情報量が豊富で帝国書院を選んだということですが、東京書籍についても統計資料が豊富だったと思います。帝国書院を優先する理由を詳しく教えてください。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

前原委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の前原よりご説明いたします。

どちらの会社も最後の方に統計資料をまとめております。東京書籍も統計資料としては、10ページ割いております。帝国書院は9ページ割いております。ただ、東京書籍の10ページ目の統計資料は

日本の都市の人口、例えば北海道だったら札幌、旭川、釧路。ずらっと30都市ほど人口が何万人であるか並んでいます。それ以外は東京書籍と帝国書院ほぼ同じ資料を載せています。それと関連して、QRコードで生徒が自分でも調べられるような工夫をされています。その中身につきましては東京書籍では主に白地図ですが、帝国書院では動画であったり、人口についての話であったり、衛星画像であったりと割と多種多様な資料を生徒自身で手に入れることができるということで、単に載っているだけの統計資料だけでしたら1ページ多いのですが、QRコードで手に入れる情報量は圧倒的に帝国書院のほうが多いということで、1位に推薦させていただきました。

畑谷委員

先ほどから色々な教科でもそうですが、QRコードは学校では使えないのですよね。QRコードを見るようなものが教室にあるのでしょうか。

神於会長

原則、携帯電話の持ち込みは禁止なので家庭学習等で復習をしたり、予習をする際に教科書に載っているQRコードから勉強ができるということで、活用がしやすいかなど。現状の学校ではなかなか難しいかと。

山本委員

将来的にはタブレットが配布されるので、教科書が採用されて何年後かには教室でQRコードを使ってということはあります。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

私から1点だけ。地理は帝国書院になったのですが、同じ会社で関連づけてやりやすいということはあるのでしょうか。

前原委員

それもあるかもしれないのですが、純粹に調査した観点別で見ましても、総合的に見ましても帝国書院のほうが地図の方も優れていると。帝国書院の地図は東京書籍よりも一回り大きく、色合いも見やすいですね。やはり地図というのは見やすく生徒が見てみたい、見て楽しいと感じる。これも調査員が重視されておりまして、我々審議委員も同意見でしたので、たまたまどちらも1位になったのかなと思います。

奥教育長

ありがとうございます。「地図」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

奥教育長

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「地図」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「帝国書院」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(地図)」は、「帝国書院」を採択することに決定いたしました。

次に「歴史」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願います。

神於委員

それでは、審議会の神於より審議の結果についてご説明いたします。

歴史ですが、発行者が7者でございます。

歴史では、生徒が主体的に学習を進めていく上で、内容が理解しやすいように工夫されているか、また、対話的な学習や発展的な学習につながる工夫がされているかという観点で調査を行いました。その結果、審議会としての優先順位は、「1位 東京書籍株式会社、2位 教育出版株式会社、3位 日本文教出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。歴史についていかがですが。挙手の上願います。

南委員

私も東京書籍がわかりやすく、時系列もはっきりしていて歴史の流れが掴みやすいし、1位だと思っていたのですが、現在使用しているのが育鵬社のものなのですが、審議会から東京書籍を優先されたという理由を詳しくお聞きしたい。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

神於会長

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の神於よりご説明いたします。

東京書籍では、生徒にとって、資料や図が的確で分かりやすく見やすい点や、本文の表現や学習内容の配列が分かりやすく内容を理解しやすい点、また、グループ学習など対話的な学習を行うための課題が適切に設定されている点などから総合的に判断し、東京書籍を推薦しております。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

赤坂委員

日本の歴史と世界の歴史を結び付けて比較したり、考えたりするところがたくさんあり、生徒の興味を持つように工夫を施してされている教科書がいくつかあると思います。その辺りの評価についてお聞きしたい。

神於会長

世界史と日本史との関連付けになるとと思いますが、どの教科用図書においても時代の流れと主に世界と日本との関連付けておりますので、この教科書が特に優れているという点はまず無くて、例えばルネッサンス、宗教改革が日本に影響を与えてきたと、戦国時代への影響になったとか。その点はどの教科書も関連付けて学びやすくなっているかと考えています。

赤坂委員

その点については大きな差がないということですね。8者ともですか。

神於会長

8者ともと言われると、難しいところはありますけれども・・・

赤坂委員

上位3者では差がないという事ですね。

神於会長

もちろん上位3者でも、東京書籍がやはり関連付けが生徒にとってはわかりやすい、理解しやすいような単元を設定しているということです。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

中村委員

4位に挙げられた帝国書院が巻末の年表がとても詳しくて、学びやすいなど思ったのですが、各出版会社の巻末の年表を見比べてみてもカラフルに世界の動きだったり、海外から日本にアクションがあったこと、日本から海外にアクションがあったこと、視覚的な支援があるような工夫をされている教科書だと思いました。1位の東京書籍の年表もよかったですし、ページ毎に左ページ下の余白に小さく横長の年表が載っていて、この単位ではこの時代を勉強しているとすぐわかりやすいなど気づかせていただきました。ただ、東京書籍の内容的に先ほどおっしゃっていたようにバランスよく海外の歴史のことも総合的に工夫されて、編集されているなどということだったので、4位の帝国書院、他の出版会社のポイントが下がっている部分はどこが足りなかったのかは、

東京書籍の中で総合評価が高いという、フラットに学べるという観点で選ばれたということによろしいですか。

神於会長

はい、そのようにご理解いただいて結構です。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

それでは私から。どの教科でもそうですが、歴史においても人権学習が大切で、「人権にかかわる記述が丁寧である。」といくつかの会社では書いていただいています。書かれていない会社でも当然配慮はあると思います。人権学習を進める上での丁寧さということで1位が東京書籍になるのでしょうか。

神於会長

すべての発行者においても、人権や差別に関する内容について取り扱っております。ただ、東京書籍やここに挙げている3位までの日本文教出版、教育出版では本文中にも数行に渡って記載しておりまして、他者と比較しましてもより丁寧に取り扱われていると判断しております。

奥教育長

他にございませんか。

赤坂委員

古代、中世、近代史と大きく3つにブロック分けできると思いますが、5年前と比べて明治以降の近代史についての記述が各者ともページに占める割合が多くなっていると思います。それについては近代史の歴史認識とか解釈の違いがあると思う。文科省の指導要領の範囲中で8者が教科書選定の中の8者になったという事ですが、近代史の中で大きな解釈の違いが何ヶ所か8者の中でののでしょうか。

奥教育長

7者ですね。

神於会長

いわゆる近代での解釈の分かれるところについては、それぞれ解釈が分かれている部分についての記述をしているということで、東京書籍もそうですし、それ以外の教科用図書でも、例えば南京事件についても解釈が分かれる部分があるということでの記載があるので、特にそれでこの教科書がより優れているという部分ではないかなと思います。歴史認識で意見が分かれるところについては明記しているということで認識しています。

赤坂委員

その辺を子どもたち同志でディスカッションしたり、ワークし合えるような仕組みになっている教科書というのはあるのですか。みんなで考えましょうとか。

神於会長

そういう形で課題を設定して、仮に教科書にそういう課題設定が無かったとしても、授業の中で課題設定をすることで、より考えていくということは可能かなど。

赤坂委員

審議会の答申の中にもありますように、我々が昔に習った聖徳太子、鎌倉幕府の年号など少し史実と違ってきている。まだ確定できないものについては少しくエスチョンな形で子どもたちに伝えるような表現にしている所があるのですが。そういう所で言うと、近代とはいいながらまだまだ解明されていない事例がいっぱいあると思うのですが、その中で各者微妙に違う所が見受けられるのですが、総合的に評価すると、私の頭の中では3者ほど浮かんで、この3者であれば問題ないのではないかという所まで来ています。相当差がついていて、これはだめだという教科書はあるのですか。

神於会長

先ほど、委員がおっしゃられた通り、各者それぞれ特徴を出して、教科用図書を作成されたと思います。ただ、東京書籍は総合的に、他者2位以下についてもだいぶん差があるのかなと思いますし、2位に挙げている教育出版と、3位日本文教出版は僅差かなど。1位の東京書籍とはだいぶん差があるかなと思います。もちろん、4位以下の会社からしても1位の東京書籍のほうがより間が空いていると審議会では考えます。

赤坂委員

3段階の歴史ですが、古代から中世、中世から近世に入る間には必ず何か大きな事件や出来事がある、変革していくわけなのですが、その辺りの節目の混ざり方、それに対して各教科書会社はどのような取り組み方をしているかお聞かせいただきたいのですが。例えば幕末から明治だとか。中世から近世にかけてとか。

神於会長

いわゆる歴史の認識だとか、学者によっても中世、近世、近代をどこで分けるかということでも、いろいろ学説等もあると思うのですが、特に近代に入るのが幕末、明治維新になるのかなと思うのですが、それについても子どもたちに考えさせる会話的な活動を取らせるような課題設定をして、例えば東京書籍であれば「もっと歴史」というようなことで取り上げて、それだけではなく他の観点からも見て下さいというようなことで設定ができていると思います。それについては他者についても課題設定をわかりやすくして、子どもたちが理解しやすいようにという取り組みはどの会社でもされていることです。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

山下委員

歴史はわからないことはわからないで、史実があるとか事実は事実として伝えていくのが歴史だと思います。分からないことは分からないで、分からないことを決め切って歴史に書くということはあってはならないことだと思います。前回選んだ育鵬社以外の会社を選ばれているのですが、例えば東京書籍でもそうですが、近現代史で韓国併合を植民地と書いているところとか、出兵を侵略と書いているのですが、日本は韓国を植民地化して侵略したのでしょうか。

神於会長

それはいろいろな説がありますので、私からどうこうというのはひかえます。

山下委員

僕は違うと思うのです。韓国を併合して出兵はしたか知らないのですが、韓国を併合したのは間違いないと思うのです。ただ、植民地化して侵略したのかなと疑問に思ったのですが、そういったことは書かない方がいいのではないかと。前回選んだ育鵬社はちゃんと事実か、そのままの状態韓国を併合して出兵しましたというのは、出兵して併合しましたというのは多分それが事実だと思うのです。歴史上の解釈の捉え方ではなく、事実を事実として載せた方がいいのではないかと僕は思います。

奥教育長

はい。ご意見として受け止めておきます。他にご質問はありませんか。

それでは私から1点。歴史に興味深い子どももいれば、歴史は難しくて苦手意識を持つ子どももいると思います。そういった子どもたちにも歴史というのは過去をしっかりと振り返って、それが未来の社会を作ることに繋がるような学習になってくると思います。各教科書会社は子どもが興味関心を抱くような工夫をしていると思うのですが、トップの東京書籍、3位までの会社はどのような工夫をされていますか。

神於会長

子どもに興味関心を抱かせる点においても、東京書籍は内容の順番にも工夫をされており、非常に理解をしやすい順番で、使っている資料や図も本文の内容に合って、生徒にとっては分かりやすく見やすいという部分が特化されるかなと思います。教育出版、日本文教出版についても子どもたちが関心を抱くような課題や内容、資料を使っていると言えますが、やはり東京書籍の方が、他社に比べてもそういう面でも、子どもたちの学ぶ姿勢を作っていくのに一番適していると判断しました。

奥教育長

ありがとうございます。「歴史」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

赤坂委員

もう一つ細かいことなのですが、明治以降の教育の中でいろいろ小学校レベルの教育から中等高等教育をしていったわけですが、大正に大学令が出るまでの高等教育と、大学令が出てからの教育と分かれると思うのですが、公立というか国や地方の施設の教育の学校については割と詳しく各者とも載せていると思うのですが、私学の学校ですね津田塾、早稲田、慶応、同志社についても少し触れていると思うのですが、各者とももう少し触れてくれてもいいのになというところがあるのですが、その点について審議会の中では、お話しがあったのか、無かったのか。

神於会長

いわゆる私学で、教科書には津田梅子さんの津田塾、早稲田大学の大隈重信、慶応義塾の福澤諭吉、同志社の新島襄の記載はあって、それ以外の例はというとほとんどない。それについて、当審議会で意見交流があったかと言われますと、ちょっと申し訳ないのですがその点については検討に上らなかったのは事実です。

赤坂委員

誰々が創設したで、だいたい終わっていますので、それも志や趣旨などまで、載せていただいたら、もっと詳しく近代の教育について本質が子どもたちにわかりやすいかなという観点でお聞きしました。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「歴史」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員4名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(歴史)」は、「東京書籍」を採択することに決定いたしました。

次に「公民」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしくお願いいたします。

神於会長

それでは、審議会の神於より審議の結果についてご説明いたします。

公民ですが、公民は発行者が6者でございます。

公民では、公民という教科に生徒が興味・関心をもつための工夫がされているか、また、生徒にとって公民が身近に感じられるような工夫があるかという観点で調査を行いました。その結果、審議会としての優先順位は、「1位 東京書籍株式会社、2位 日本文教出版株式会社、3位 教育出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございます。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。公民についていかがですか。挙手の上お願いいたします。

畑谷委員

公民に関しても現在、育鵬社を使用していますが、私も今回東京書籍が良いと思います。先ほど、会長がおっしゃられたように、歴史と同じ様に他者とは大きな差があるのでしょうか。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

神於会長

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の神於よりご説明いたします。

現在は育鵬社で東京書籍を優先する理由ということになると思いますが、単元の導入とまとめ、学習課題が明確であり、生徒が主体的に学習に取り組むことができる点、また、「みんなでチャレンジ」の活動では、対話的な活動を行いながら、生徒自身の思考を整理することができるよう工夫されており、実際の社会においても必要な力をつけることができる点や、社会で起きている出来事を学校に置き換えて考える部分があり、生徒にとって身近に感じられる点など、総合的に判断し東京書籍を推薦しています。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

甚野委員

公民の教科について、教科書を見るのが半世紀ぶり位になっています。自分が当時、得意でなかった教科と考えたときに、公民は訳が分からなかった状態で、男子生徒は割と得意だったようでしたが、女子は公民をよくわかっている人は少なかったように思うような、難しい教科だと思うのです。自分が中学生の気持ちで教科書を見たときに、調査員の先生方が意見を交換される育鵬社の「①各章のはじめに、キーワードとなる言葉がまとめられていたり、生徒が興味・関心を持ちやすい工夫がされている。」という点で同意見でした。得意でない教科になってくると、教科書を開くということすら苦痛になってくるのですが、この会社に関しては、見開きで一目で分かりやすく、まだ取り組みしやすい工夫をなされているように思いました。先ほどの歴史の教科書におきましても、東京書籍の「①的確で分かりやすく、見やすい。」という項目を挙げておられるのですが、社会に関しては苦手意識を持っている生徒さんが多いと思うのですが、教科書が見やすい、取り組みしやすい

という点は非常に優れているように思いましたので、東京書籍と育鵬社の違いがどうかと思いました。

奥教育長

違い的なものがあればお答えいただけますか。

神於会長

委員のおっしゃられる通り、育鵬社も生徒が興味・関心を持ちやすい工夫をしているという事ですが、もちろん東京書籍も子どもたちの興味・関心を引くように、配列や課題の設定の工夫をされております。尚且つ、総合的に判断した一つには、特に政治の部分や憲法を学ぶところでの、東京書籍と育鵬社を比較してもよりこう育鵬社の内容の方がより多く、子どもたちにとっては過度の負担ということではないのですが、やや難しすぎるのではないのかと。子どもたちの成長段階を考えたら、東京書籍の方がより理解しやすい部分があるなどということ、一つは憲法に関わる記述部分でも調査員からの報告もありましたし、審議会でもそのような方針になったということです。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

山下委員

歴史と一緒に事実を事実として捉えなければならないという事と、教科書というのは読みやすさ使いやすさ、写真のレイアウトですね。その辺で東京出版と育鵬社と迷ったのですが、僕の感想ですが、教科書は文章と資料のバランス、解説文の量が中学生のレベルに合っているのではないかと、僕は逆にそう思いました。質問ですが、憲法9条で自衛隊の事とか書いてあると思うのですが、自衛隊は最近災害も多いですし、必要であることは間違いないと思うのですが、それは適切に言わないといけないと思っています。それと集団的自衛権、育鵬社以外は反対や批判ばかりのように感じましたが、どう思われますか。

奥教育長

内容にかかわることですか、いかがですか。

神於会長

内容にかかわる部分も多いので、ご意見としては承りますが、実際に生徒にとっての指導という部分での比較をしていくと、特に憲法9条に関連してとか、自衛隊に関連してというのはどの教科書も必要な事項は記載しておりますので、その点の生徒への正しい指導はできていると思っています。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

赤坂委員

公民の科目を学ぶという視点から言えば、法律や経済や金融にかかわる事を学んで、いろんな社会の変化に対応して、民主的な国家を社会的に形成していくという人材を養って、育成していく教科だと思っています。それで、暮らしや経済の点で、学校だけではなく地域社会、家庭との連携が必要不可欠な科目だと思うのですが、連携して学んでいくことを、各者書かれておられると思うのですが、その点をより重視されているのはありますか。

神於会長

委員からのご質問は経済的な分野、地域経済だとか家庭での経済活動等についてを考えさせられることがあるかという事だと思うのですが、公民的分野では、「市場と経済」の中で、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解することとなっています。いわゆる金融についての学びをより充実させるということが、文科省からも示されており。各者の経済金融教育に関わる内容は、東京書籍では、「コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう」とか、帝国書院では「ライフプランからお金について考えよう」、教育出版では「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか」、日本文教出版では「金融投資のリスクとリターン」、育鵬社では「人生をデザインしよう」、自由社では「お店に出店しよう」においてそれぞれ、生徒自身と経済活動との関わりについて考えるページが各者とも準備されています。その設定に応じて、考えさせてより学びを深めることができると考えております。

赤坂委員

私の中では育鵬社が自分の人生設計と金融・経済形成について一番詳しい記述をしているという印象を受けています。それと、人権やLGBTとか人権の幅も広く捉えるようになってはいますが、それについての記述ですね。それについて各者どのような評価を審議会の皆さんはされているのか、お聞かせいただきたい。

神於会長

公民だけではなく、他の教科書でもいわゆる性について多様な考え方がありますので、性の多様性についてはどの教科書、どの会社も尊重するようにできるだけ面での配慮が必要ですので、その点については各者とも必要事項ということで記されております。

奥教育長

それはそのような配慮がされているということですか。

神於会長

はい。配慮されています。

赤坂委員

各者それぞれ工夫されているという事ですよ。大きな評価の差はないということですよ。

神於会長

載せていないから評価はない、というものではありません。

赤坂委員

国際的な世の中になってきて、グローバル社会で生きていかなければならない子どもたちが、その国際的な舞台で、外国の人たちと説明したり話し合いをしたり、いわゆるディベート力やプレゼンテーション能力が培われなければいけない時代に入ってきていると思います。その中で、いろいろ工夫されている教科書があれば、教えていただきたい。

神於会長

いわゆるディベート力やグローバル的な考え方を生む形となりますと、やはり東京書籍では「みんなでチャレンジ」という形でみんな考えて、多様な活動で実際の社会においての必要な力を身に着けることを主眼において、多様な活動を取り組んでいこうと。生徒たちに考えを深めさせるということが、特に東京書籍では「みんなでチャレンジ」というところでありますので、1位に推薦した理由の一つです。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

南委員

私は東京書籍が1番良いと思いました。理由として学ぶべき内容がすべて取り上げられていて、バランスが取れているなどと思った1番の教科書です。「もっと公民」というところで、取り上げられている内容が東日本大震災だとか、オリンピック、パラリンピックさらに資料を基により学習できるし、單元ごとの終わりのまとめというの、使いやすく詳しく、いいなと思いました。一番お聞きしたかったのが、前回採択しました育鵬社の4年5年使われて、先生方は使い勝手がよかったのかよくなかったのか、その辺どのような評価をされているのか実際のお声が聴きたいのですが。

奥教育長

審議会の論議した中身ですから、分からなかったら分からないで結構ですよ。

神於会長

調査員とのやり取りの中を確認しているのですが、分量や内容が多い部分があるので、指導するのに精査する工夫が必要でやや先生方にとっては、特に経験が少ない先生方も多いので指導は難しかったという意見があったのは確かです。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

それでは私から。歴史も目的を言わせてもらいましたが、やはり公民も現代社会を生き、未来を創っていく上で、一番基礎となるような、生活に密着していることが大きいと思うのですが、そのことを理解する上で、生活に密着しているだけに様々な子どもがいる中で、色んな子どもたちに記述面だとか表現面で配慮をしないといけない部分があると思います。配慮についてはそれぞれの十分なされていたかどうかお聞きしたいのですが、いかがですか。

神於会長

それぞれ配慮が必要な生徒に対しても、授業の中でも教科書を見て配慮ができると。例えば、図にしてもそうですし、文章の表現にしてもそうですし、グラフでもある一定、子どもたちに合理的な配慮ができるような構成になっております。

奥教育長

あまり差異がないということですか。教科書によっては、配慮に欠けていることがあれば教えてください。無ければ結構です。

神於会長

こういう言い方をしては何ですが、上位3者とそれ以外の会社との差はやはりあると、調査員の報告ではありました。

奥教育長

わかりました。

最後に資料がついていますよね、子どもの権利条約や関連している習った関係法案など、たくさん載っていますが、そういう面でも各者差異がないということによろしいですか。

神於会長

必要な事項は記載されているということで。

奥教育長

わかりました。他にございませんか。

中村委員

先ほど、教育長がおっしゃった巻末の資料のことなのですが、私が各出版社を見させていただいて、どれも教育基本法について掲載が短かったり長かったり、いろいろありましたが、私が珍しいと思ったのは育鵬社が取り上げられていた第10条の家庭教育についてという条文とか、第16条の教育行政について取り上げられていたので、家庭教育の大切さを子どものころに大事だという意識付けができるような工夫がされているのかなということ。教育行政に関しても、学校の中でどうして自分が勉強しているのか、素朴に思春期の多感な時期に感じたり、悩んだりしたときに何で学校に行かなければならないのかの情報の一つとして載せてくれているのだなと感じたので、珍しい条文を載せてくれていたと。他の教科書会社は載っていなかったものですから。

奥教育長

意見ですね。他に質問はございませんか。

甚野委員

先ほど神於会長がおっしゃった中に、育鵬社に関して、新人の先生にとっては難しい内容が多かったというようにを記憶しております。現在の子どもたちはどんどん考えることを避けるというか、あまり深く考えないようになりつつあるような時代に突入しているように思います。今までの教科で見ましたら、だいたいの教科は正解がこれとはっきりと分かっている教科が多いと思うのですが、物事が起こった原因を深く考えていく、考える力を作っていくきっかけはどれかの教科が必要ではないかと考えますが、その新人の先生が難しかったという事で、安易に新人の先生でもわかりやすい教科書を採択すると捉えてしまったのですが、東京書籍が安易だと言っているわけではないのですが、難しいことを避けるということと言うと、他のこと、人生のデザインとか全てにおいて、問題があった時に逃げていくように思うのですが、どれか一つの教科でもそうやって取り組んでいく、向かっていく様な教科があってもよいのではないかと、今までの流れで感じたのですがいかがでしょうか。

神於会長

指導が難しいと感じたということで、ただ難しく感じただけであって、それで指導を放棄したとか安直に教科書を選んだとかではなく、やはり授業の中での持って行き様で苦慮した部分はあったけれども、子どもたちことを考えて深く考える教材というのはやっていますので、私の発言で申し訳ないことがあったのですが、実際に現場の教員は教科書に基づいてやりにくい部分があったとしても、十分に指導はしているということです。

奥教育長

ありがとうございます。「公民」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

畑谷委員

今の甚野委員の質問と関わりがあると思いますが、教える先生方がやりやすい教科書が一番かなと思います。それで前は育鵬社がいいと思ったのですが、今回東京書籍と育鵬社を読み比べてみたのですが、育鵬社は発展的に詳しく書かれているので、授業時間がすごく長くなってしまっているのかなと懸念があるんですね。ここだけ長く時間をとるのもいいのかもしれませんが、やはり限られた時間の中で終わらせるためには、もう少しさらっといってもいいのではないかなと思いました。公民は地理や歴史と関連しながら、政治経済も勉強しなければならないということから時間がたくさんいるように思います。今回の東京書籍は今の子どもたち、新聞を読んでいるのかなと思うくらい新聞を読まないように思います。新聞を取っているご家庭も少ないように思うのですが。そんな時にニュースだけを見ていて、どれだけの政党があって党首が誰なのかも知らないまま過ぎていってしまうところがあるのではと思うのですが、東京書籍では政党と党首の写真が載って

いたように思います。そういう所から、選んだ理由に身近に感じられるとおっしゃっていたので、身近に受け止められるには、東京書籍が入りやすいように感じたので、今回は私は東京書籍がいいと思います。

奥教育長

ありがとうございます。他にございませんか。

赤坂委員

各政党の党首の写真やスローガンは東京書籍以外の教科書にも載っていたと思います。自分を高めて、自分の物差し、自分の設計をする工夫が育鵬社にはされていると思います。自分の現在未来を自覚させるシートがあったりして、それをやってみようとか、家族の人の生きてきた時代を調べてみようとか。子どもに興味を持たせるような題材を育鵬社は仕掛けているなど。もちろん、食らいついてもらわないと面白くないですからね。そういう風なことでひとつ、チャレンジしてみよう、やってみようという仕組みをして、自分を見つめることによって、社会が他人事ではなく自分がその中に入って、自分のこととして現代社会を捉えることの教材を上手く使って、教えているところが育鵬社がいいなと思う点です。

奥教育長

ありがとうございます。他にございませんか。

山下委員

先ほどの甚野委員の発言にもありましたが、やはり難しい簡単というのは、個人の取り方がいろいろあると思うのですが、逆に僕は育鵬社の方がわかりやすいかなと思ったのは間違いありません。内容が多いという意見もあったのですが、そんな中、先生方が必要なもの必要でないものを自分で一生懸命勉強しながら、生徒に教えていくというのも、それもまた授業ではないかなと思います。

奥教育長

ありがとうございます。

南委員

私は東京書籍がいいなと思っているのですが、畑谷委員の先程の話で、東京書籍 88 ページで選挙の流れを 2 ページ渡って書いているのですが、子ども向けにわかるように立候補してから選挙活動して、投票してと流れを書いてあるページがあるのですが、こういう子どもたちの興味を引き付けるような工夫もされているなと思いました。

奥教育長

ありがとうございます。甚野委員いかがですか。

甚野委員

先ほど申しあげましたように見やすい教科書、どの教科すべての中で一番公民の育鵬社が見やすかったと挙げさせていただきます。

奥教育長

ありがとうございます。中村委員いかがですか。

中村委員

私も、答申の中で挙げられていました「①各章のはじめに、キーワードとなる言葉がまとめられていたり」ということで、同じ意見だったので、私も育鵬社が見やすかったかなと思います。

奥教育長

ありがとうございます。

私の方から、一番最初にも質問もさせてもらいましたが、子どもへの配慮ですね。やはりいろんな家庭の子どもがいる配慮、差別視される子どもたちもいるという中で、あまり差異はなかったとお伺いしました。それと、多様性ということではいいですと、また差異はあまりないと。例えば、LGBT的な性の多様性だとか、そんなに推薦順位1位から3位までの差異はないと伺っております。そういった点では安心をしております。

他にもご意見がなければ、採択に入りますがよろしいですか。

それでは、採択に入ります。

種目「公民」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員2名 挙手)

奥教育長

挙手2名です。

他の方は意見で「育鵬社」ということでしたので、「育鵬社」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員4名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(公民)」は、「育鵬社」を採択することに決定いたしました。

次に「数学」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願います。

山岡委員

それでは、審議会の山岡より審議の結果についてご説明いたします。

数学ですが、発行者が7者でございます。

数学では、生徒が学習を主体的に進めていく上で、それぞれの課題のねらいが明確であるかという点や、補充的な学習や発展的な学習の内容について、生徒の学習状況に合わせた工夫ができるかという点を重視しました。その結果、審議会としての優先順位は、「1位 数研出版株式会社、2位 教育出版株式会社、3位 日本文教出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。数学についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

山下委員

僕は個人的には教育出版が非常に優しいと感じました。全国学力調査でも泉佐野市は中央より下かもしれませんので、数学というのは難しい教科ですので、難しい子には見るだけで嫌だと思える教科なので、僕にとっては数研出版は難しいように感じたのですが、どうしてそちらを選ばれたのか理由を教えてください。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

山岡委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の山岡よりご説明いたします。

数研出版を選ばせていただいたということで、泉佐野の学力実態に合っているかということを含めてだと思いますが、数研出版の教科書は、説明の部分や例題、問いの部分を整理して記載しており、授業をするときにも使いやすいけれども、子どもたちが家に帰って、教科書を見たときに問題の解き方の流れを復習するのに使いやすいのではないのかなと審議会の意見ではまとまっています。内容を把握しやすく、学習に取り組みやすい流れとなっており、他者と比較しても差があったと感じます。また、練習問題についても、難易度別に「問題A」「問題B」「発展」が用意されており、生徒の学習状況に合わせてステップアップしていくような指導の工夫でき、別冊で活用能力を高められるような問題を用意されています。学習のステージに応じた問題の難易度、質、見やすさを見ると、他の教科書会社も工夫はされていますが、数研出版が抜きん出ている所があるかなという審議会の判断です。

奥教育長

よろしいですか。発達段階に応じた配慮がされているということですね。

他にございませんか。

赤坂委員

統計的な事で申し訳ございませんが、5年前の評価も数研出版が1位ということで、別に数研出版について反対意見はありませんが、大阪府では5年前一番採用が少なく3地区でした。近畿でも東京書籍、啓林館が一番多いのですが、数研は9地区、全国的に言いますと東京書籍、啓林館はどちらも200を超えています。学校図書、大日本図書、日本文教出版がきて、教育出版、最後に数研と。採用地区が少なかったのですが、逆に私学だとか都立中学、国立中学では数研が採用されている学校が多いですね。特に進学校に多いです。心配としては、さっきの山下委員ではないのですが、数研出版は少しレベルの高い教科書で、いい教科書で違いないのですが、今の泉佐野の学力と合わせたら、重たい気がしたのですが、入りやすいし、いろいろ工夫されているから問題ないよと言われる。全国的な評価がどうして低いのか審議会のご意見を賜りたい。

山岡委員

どうして低いのかはわかりませんが、各教科書を見て調査員の先生方のご意見も参考にしながら、子どもたちに応じたそれぞれの難易度の問題が用意されている、数学科においては、系統性のある指導が求められ、既習事項を土台として新たな内容を学んでいくという流れがあります。数研出版では、各章の学習に入る前に、「ふりかえり」として関連する内容について復習するためのページが用意されており、学び直しの機会が設定されており、数研出版の優先順位を高く付けさせていただいた理由になります。

全国的にいろいろな審議をされている中で、数研出版がどのようにというのは我々ではちょっと比較していません。ただ、今回挙がっていた7者を見比べて、検討した結果、教える側としても学習する側としても扱いやすい教科書ではないかと判断をしました。

奥教育長

よろしいですか。他にございますか。

山下委員

数研出版は数学しかないのですか。

山岡委員

数学だけだったと。

奥教育長

ありがとうございました。「数学」について他にございますか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「数学」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「数研出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(数学)」は、「数研出版」を採択することに決定いたしました。

次に「理科」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願いいたします。

山岡委員

それでは、審議会の山岡より審議の結果についてご説明いたします。

理科ですが、理科は発行者が5者でございます。

理科では、生徒が主体的に学習するための工夫がされているかという点や、実験についての説明や学習の流れが生徒にとって分かりやすいものになっているかという観点で調査を行いました。その結果、審議会としての優先順位は、「1位 株式会社 新興出版社啓林館、2位 東京書籍株式会社、3位 学校図書株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございます。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。理科についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

山下委員

理科は啓林館というイメージが強いのですが、少し難しいイメージがありますが、大丈夫でしょうか。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

山岡委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の山岡よりご説明いたします。

啓林館の内容が難しいかもしれないというご指摘がありましたが、今回、他の教科書でもQRコードがたくさんついていて、子どもが学び直しできるような工夫がどの教科書でもあるのですが、とくに啓林館については知りたい情報がすぐに出てくるように工夫されており、生徒が自分で復習することにも向いていると考えられます。教師にとっても指示指導がしやすい段階になっているかなと思います。他者についてもQRコードを活用しておりますが、実験に関わる部分で個別の情報がすぐに取り出せるようには設定されておりません。

理科については日常との関連付けをして、興味関心を活かして、学習を進めていくという、どの教科書も特徴が見られますが、特に啓林館の教科書については身近な事象を挙げて、実験の導入にという紹介があったり、実験から考察までの流れも子どもが振り返ってみたときに分かりやすく、書かれている点が特に評価できる点だったということで啓林館を1位に推薦しております。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

中村委員

質問ではなく意見なのですが、私が理科の教科書を見るポイントとして、実験のイラストや例が多いかどうか、多いのであれば説明が詳しく載っているかどうかという観点で見させていただいたのですが、やはり理系らしい作りの啓林館がいいなど評価しました。裏表紙、背表紙のところに URL のアドレスが載っていたり、デジタル教育を取り込んでいるのだなど評価しました。

巻末にミシン目で切り取る探求シートがあって、現場ではそれをノートに張ったり工夫されるのだろうと想像出来ましたし、単元の内容によっては強調したい箇所が赤字で印字していて、視覚的にも意識した工夫があるのだなど評価できたので、私も 1 位の啓林館がいいかなと思いました。

奥教育長

ありがとうございます。

それでは私から。将来的に子どもたちが 1 人 1 台タブレットを持つようになって、実験もその中で活用も大切になってくるのかなど。私も数学の所で言い忘れてしまったのですが、3次元でコンピュータを使ってなかなか理解できにくいものを、理解できるとかあると思うのですが、そういった点でそれぞれの教科書の取扱いはいかがでしたか。

山岡委員

QR コードを使ってということは、各者工夫をされているところではあります。先ほどお話しをさせていただいたように、教科書によっては QR コードを読み込むとまず一覧がでてきて、そこから自分が見たいものを選ばなくてはならない教科書がありますが、その中では啓林館はその実験に載っている QR コードを読んだら、その実験の動画や関連したところがすぐに開くという点で、子どもたちも知りたいことがすぐに検索できることは、わかりやすい学びやすいものになっていると思います。

奥教育長

ありがとうございます。「理科」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

南委員

私は東京書籍がいいなと思っていました。東京書籍と啓林館を比べて、東京書籍との違い、どこが啓林館のほうがよかったのか教えてください。

山岡委員

大きな差があるという訳ではありません。どちらの教科書も洗練された教科書ということで審議会で一致している意見です。その中で啓林館の教科書は、先程と重複しますが、教科書から生徒が

読み取る説明と情報の量が最も適切である点。東京書籍は少し多いところもあるかなというところ。実験についての安全の配慮についても、子どもたちが分かりやすいように表記をされている部分があるところ。啓林館の使っている写真が、関西の場所のものが結構あったりするの、例えば自分の身近に住んでいるところの地形の写真が載っている所があるということで、東京書籍と啓林館を比較すると内容的な歴然とした差はないのですが、我々が使う教科書としては子どもたちも馴染みを持てるかなと判断しております。

奥教育長

よろしいですか。

最後に1点だけ。理科の実験で安全性が非常に大事になってくると思うのですが、もちろんのことそれぞれの教科書では、実験の安全性には配慮されていますよね。

山岡委員

その点は各教科書会社、安全性に関しての配慮はありました。特に分かりやすくまとめられているのは啓林館でした。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「理科」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「新興出版社啓林館」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(理科)」は、「新興出版社啓林館」を採択することに決定いたしました。

次に「音楽(一般)」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願います。

古谷委員

それでは、審議会委員の古谷より審議の結果についてご説明いたします。

音楽(一般)ですが発行者が2者でございます。

音楽では、生徒が主体的に音楽の学習に取り組むことができるか、また、学習内容が生徒の発達段階とあっているものとなっているかどうかを重視しました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 株式会社教育芸術社、2位 教育出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。音楽（一般）についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

山下委員

これは一般と器楽と同時に決めるのですか。違う教科書でないといけないとか。

赤坂委員

そういう例もありますけどね。5年前までは一緒に採択されていましたが、他の地区の決め方を見るとみんな分けてされているようです。

奥教育長

別々で審議を進めます。他にございませんか。

中村委員

軽度の聴覚の障害がある生徒さんに対しての指導や配慮はなされているかどうか、1位に選ばれた教育芸術社だとそういった工夫や指導があるのかどうかお聞かせ願いたいのですが。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

古谷委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の古谷よりご説明いたします。

聴覚的に不自由ということであれば、指導する先生がどこまで配慮していくか必要になってくるかなと思います。どうしても、あとは手話を少しはさんだりだとか、今はマスクもありますが口の動きであったりとかを合わせながら、楽譜を使っての指導にという形になってくると思います。特にその部分に関して、大きく両方で差異があるとは見受けられませんでしたけれども、指導できる範囲だと思います。

奥教育長

ありがとうございました。「音楽（一般）」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「音楽（一般）」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「教育芸術社」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

（委員全員 挙手）

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書（音楽（一般）」は、「教育芸術社」を採択することに決定いたしました。

次に「音楽（器楽）」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願いいたします。

古谷委員

それでは、審議会委員の古谷より審議の結果についてご説明いたします。

音楽（器楽）ですが発行者が2者でございます。

音楽（器楽）では、一般と同じ様に、生徒が主体的に音楽の学習に取り組むことができるか、また、学習内容が生徒の発達段階とあっているものとなっているかどうかを重視しました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 株式会社教育芸術社、2位 教育出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。音楽（器楽）についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

中村委員

楽器の種類が外国の楽器も取り扱っているのが、教育出版だったと思います。日本の琴、尺八を演奏してみようだとか、体験できたら幸せだろうとかいい機会だろうなど思ったのですが、実際泉佐野の現場ではそういった体験させてくれる機会はあるのでしょうか。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

古谷委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の古谷よりご説明いたします。

現在の学習指導要領では和楽器の体験は必須項目になっておりますので、ほとんどの中学校では箏、琴の体験が行われています。実際には学習指導要領で必修になった場合でも、値段的にかかるものではあるということで、文科省等もお話しの中では各学校で協力をし合って台数を確保したりといった工夫が示されたものではあります。そのため各学校で連携しながら、楽器の貸し借りをしたり、一面の琴を使用しながら、二人、三人でパートに分かれて演奏を体験していくということを工夫されたり、そこは指導する先生の裁量によってくるころはあるのですが、それぞれ先生方が工夫しながら体験をさせていただいているというところではあります。

奥教育長

ありがとうございました。「音楽（器楽）」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「音楽（器楽）」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「教育芸術社」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

（委員5名 挙手）

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書（音楽（器楽））」は、「教育芸術社」を採択することに決定いたしました。

次に「美術」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願います。

古谷委員

それでは、審議会委員の古谷より審議の結果についてご説明いたします。

美術ですが、美術は発行者が3者でございます。

美術では、生徒が興味・関心をもって美術の教材に触れることができるか、また、表現と鑑賞のバランスが良いかという観点で調査を行いました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 日本文教出版株式会社、2位 光村図書出版株式会社、3位 開隆堂出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。美術についていかがですが。挙手の上願います。

中村委員

3者とも見比べさせていただいて、日本文教出版は私の中では2位でした。なぜかという、個人的にですがとても内容的に美術が大好きな子向け教科書の作り方かなという印象を受けました。光村図書出版のほうの写真や例が多かったり、苦手な子向けでも幅広く見ることができる内容でないかなと思いました。そこで、1位と2位と選ばれていたのも、光村図書出版よりも日本文教出版を推されるポイントをお聞かせいただけますか。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

古谷委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の古谷よりご説明いたします。

調査員の先生方のご意見も参考にさせていただきながら、審議会といたしましては3者とも工夫された教科書ですが、日本文教出版を推薦させていただいた理由としては、写真等の配置やデザイ

ンが工夫されており、生徒が興味・関心を持って教材に触れることができると考えられたところ、表現と鑑賞のバランスが良いことが挙げられます。さらに、日本文教出版のみ2、3年生の分野では上と下という形で分冊になっております。3年間を3冊で学習するようになっており、学習内容の量的な部分でも豊富であり、分冊されていることで生徒が学習をスムーズに進めることができることから、日本文教出版を1位に推薦することとなりました。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

甚野委員

美術ですが、私も3者見せていただいて、一番最初に印象に残ったのは光村図書出版でした。特に美術で言う科目に関しては色遣いというのが結構インパクトがあると心の琴線に触れるというか芸術的な分野になってきますので、頭でわかるというよりも感覚で反応するような教科書の方が私はいいように思いました。日本文教出版は私の中では2位なのですが、各作品の写真の写し方、写真映えがイマイチでした。それに比べますと、光村図書出版のほうの色遣いといい、目に飛び込んでくるインパクトが強いというか、特に美術という科目ですから、色遣いに関しては光村図書出版のほうが良かったように思ったのですが、いかがでしょうか。

古谷委員

実際に指導にあたられている調査委員の先生方のご報告をお聞きする中では、初歩的などころで考えると日本文教出版のほうが、子どもたちに対して指導を進めやすいということもございましたので、総合的に考えて日本文教出版を推薦させていただいております。

奥教育長

ありがとうございます。「美術」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「美術」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「日本文教出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員4名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(美術)」は、「日本文教出版」を採択することに決定いたしました。

次に「保健体育」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしくお願いいたします。

大倉委員

それでは、審議会委員の大倉より審議の結果についてご説明いたします。

保健体育ですが、発行者が4者でございます。

保健体育では、生徒が主体的に取り組むことができるか、また、理解を深めることができる工夫がなされているかという観点について調査しました。

その結果、審議会としての優先順位は「1位 株式会社学研教育みらい、2位 東京書籍株式会社、3位 株式会社大修館書店」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。保健体育についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

山下委員

僕も学研教育みらいだと思っているのですが、テーマごとの文章や説明、イラスト表などによる解説はわかりやすく、学習しやすくなっていると思います。しかし、各者ともよく似た様に思いますが、より見やすく使いやすいものという観点から選んだのですが、何か一つ決め手があれば教えてください。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

大倉委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の大倉よりご説明いたします。

内容ごとにめあてが明記されており、生徒が主体的に学ぶための助けになっていることや、学習の流れが明確であること、また、4者の中では最も注釈が細かく記載されており、生徒が発展学習や補充学習をしやすいように工夫されている点となります。さらに、性の多様性の記載については、内容が最も配慮されており、いろいろな思いを持った生徒の気持ちに寄り添っている点においても、生徒が安心して使用できると判断しました。一番の決め手になりましたのは、見やすさでした。各現場の調査員につきましてもこの部分について、色々な意見をいただきましたので、私もそれを見てそのように感じております。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

赤坂委員

文字やフォントの大きさなどもちょうど適しているのが学研教育みらいだと思うのですが、全体的にもう少し深く性への教育をして欲しいところなのですが、各者その点を読ませていただいても、もう一つのところがあるのですが、審議会の中ではこういった意見が出たのか教えてください。

大倉委員

どの発行者においても、体の成長や心の成長の度合いについて個人差があることに触れているので、人権尊重観念について考えられるのですが、特に学研教育みらいは人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われておりまして、例えばいじめや人間関係の悩みに対処する方法や、性的マイノリティについても取り上げられておりますので、現在では十分かなと考えております。

赤坂委員

性的マイノリティや多様性については書かれていると思うのですが、性についての突っ込みが足りないのかなという気がするのですが。

中村委員

赤坂委員の意見の補足になるのですが、例えば、大日本図書の44ページ45ページで欲求への対処という項目のページがありまして、人間の欲求の段階と成長でピラミッド型のイラストが示されているのですが、一番下の部分で基本的レベル、生理的な欲求の項目に、生存、生理、生殖というキーワードがうやむやに書かれている表現がありまして、他の学研教育みらいや東京書籍、大修館はちゃんと性について生存のレベルという表現があったので、大日本図書はうやむやにする表現だったというところが見受けられたものですから、現場の先生方の指導の中で一番多感な思春期の時期に、ピラミッドのイラストを見せながら、正常な反応だよとか、例を取り上げて工夫されて勉強を進めていける教科書なのではないかなということ、私も学研教育みらいを推しています。ただ、発展的なテーマとしては大日本図書の中でアンガーマネジメントの説明が載っていたので、これからの自分の中でストレスを抱えたときとか、いじめとか身近なトラブルの中で、対処するという記事が載っていたので、大日本図書のこの記事は他の教科の教科書には載っていなかったものですから、もったいないというか、これも勉強して頂けたらなと思いました。

奥教育長

山下委員はいかがですか。

山下委員

教科書採択に関係ない意見を言いそうになりました。やめておきます。

奥教育長

そうですか。赤坂委員の質問はもう少し性について、突っ込んだ指導がいるのではないかということだと思いますが、今はこの教科書のレベルが一番適切だと考えているのですよね。いかがですか大倉委員。

大倉委員

大日本図書は差が多いという意見があったのですが、いい部分もあればそうでない部分もありますので、例えばイラストで学ランやセーラー服など男女がはっきり分かれるようなイラストがあっ

たりだとか、そういった欠点もあったので、当然各者いいところあるのですが、総合的な判断すると学研教育みらいが子どもたちに分かりやすいのではというのが結論です。

奥教育長

ありがとうございました。「保健体育」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「保健体育」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「学研教育みらい」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(保健体育)」は、「学研教育みらい」を採択することに決定いたしました。

次に「技術」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしくお願いいたします。

山本委員

それでは、審議会委員の山本より審議の結果についてご説明いたします。

技術ですが、発行者が3者でございます。

技術では、生徒が学習を進めていく上で、理解を深めていくことができる工夫があるかどうか、また、生徒が興味・関心を持って学習を進めていくことができる工夫があるかという観点で調査を行いました。その結果、審議会としての優先順位は、「1位 開隆堂出版株式会社、2位 東京書籍株式会社、3位 教育図書株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。技術についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

中村委員

3者とも見比べましたが、開隆堂出版が一番薄く、教育図書が一番分厚かったです。東京書籍の印象としては、プログラミング教育、IT教育に関するページが多く詳しかったので、開隆堂出版の中でも触れてはいるのですが、現場の授業内容でこれからの未来を見据えた教育ということでプログラミングについては開隆堂出版で大丈夫なのか不安が拭えない。工夫されるポイントがあればお聞かせ願いたいのですが。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

山本委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の山本よりご説明いたします。

プログラミング教育については、3者とも適切に扱っているというように私共は考えております。大きな差ということでは先ほど中村委員よりご指摘がありましたが、私共の見方としては大きな差がないと。小学校でのプログラミング体験に個人差が予想されるため、各者ともに簡単なプログラミングを体験できるよう準備されており、生徒の学習状況によって対応できるよう配慮されています。発達段階で、小学校のころから既に学習をしているという観点で、技術では取り扱っていることで、大きな差はないと考えております。

中村委員

現場でここ4、5年間はどこかの出版社を選ばれていたのでしょうか。

奥教育長

開隆堂出版ですね。

中村委員

開隆堂出版ということで今までと、引き続き同じ教科書でというのは、まっさらな状態で審議は進められたということによろしいですか。

山本委員

左様でございます。

奥教育長

ありがとうございました。「技術」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「技術」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「開隆堂出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員5名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(技術)」は、「開隆堂出版」を採択することに決定いたしました。

次に「家庭」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしくお願いいたします。

山本委員

それでは、審議会委員の山本より審議の結果についてご説明いたします。

家庭ですが、家庭は発行者が3者でございます。

家庭では、生徒が興味・関心を持って学習を進めていくことができるための工夫がなされているか、また、生徒が主体的に学ぶための工夫がなされているかという観点で調査を行いました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 教育図書株式会社、2位 東京書籍株式会社、3位 開隆堂出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。家庭についていかがですか。挙手の上お願いいたします。

中村委員

家庭科の教科書も3者見比べたのですが、教育図書が一番分厚くて、各分野とても丁寧に工夫されていました。2位の東京書籍は巻末で他教科との学習のつながりを紹介しており、災害時の基本的な情報や備え、防災災害についてのテーマがとても豊富に載っていたので、2位に選ばれているとのことですが、1位の教育図書と2位の東京書籍の決め手になったポイントがあれば教えていただきたいのですが。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

山本委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の山本よりご説明いたします。

写真や資料が豊富にあり、見やすいレイアウトになっていて、学習する上で生徒が興味・関心をもちやすい点や、QRコードを活用した学習を考える際に、授業の中だけではなく、家庭学習においても使いやすいように配慮されている点などから、総合的に判断して教育図書を推薦することとなりました。ご指摘の通り、縦に大きいまた保管しやすいというようなところも考慮して選んでおります。

奥教育長

ありがとうございました。「家庭」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「家庭」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「教育図書」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書（家庭）」は、「教育図書」を採択することに決定いたしました。

次に「英語」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願いいたします。

中村絵里委員

それでは、審議会の中村より審議の結果についてご説明いたします。

外国語ですが、発行者が6者でございます。

外国語では、次の4つの観点で調査を行いました。①本文が魅力的で、生徒の興味・関心を引くものかどうか、②即興性のあるやりとりの場面が適切に設定されているか、③小学校英語からのつながりが、どのように扱われているか、④文法項目の分かりやすさとなります。その結果、審議会としての優先順位は、「1位 光村図書出版株式会社、2位 東京書籍株式会社、3位 教育出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。英語についていかがですが。挙手の上お願いいたします。

中村委員

先ほど審議委員会で見られたポイントとして、生徒の興味・関心をひくものかどうかという点を挙げられていたと思いますが、1位に選ばれた光村図書出版の中でそういった意味で引きつけるのかなというポイントが1点ありましたので、意見として伝えさせていただきます。1年生の教科書の96ページに世界の時刻というページがあります。そこで、日本語で表示されている文章と写真風景が一致していないものですから、よく合格したなというレベルだと思うのですが、具体的に言いますと、文章では日本現在午後10時ですと表現されていますが、左ページに東京タワーや富士山が見えるような真昼間の写真が載っているものですから、生徒はこういったところで引きつけられるのかなど。斜に構えた生徒に間違いを指摘されるのではないかと思ったところがポイントだったのですが、確かに光村図書出版は語学に関しては、国語もそうですが得意分野で、英語を語学として捉えたら工夫されていて、いいかなと思いました。ただ、教科書会社も工夫をされていて、教育出版も1年生の116ページで、リードアラウドという音読する回数を工夫して、自分から音読していく工夫がなされていたものですから、ここはいいかなと思いました。教育出版では、海外では回数を数えるときに、縦線を4本引いて最後の5本目を斜めに引くことを教えてくれているものから、海外と日本の数え方は違うんだよというのを工夫して教えてくれているかというところもここはいいかなと思いました。あと、巻末のほうですが、教育出版は132ページにアクティビティーズプラスということで、赤い透明のクリアシートがあったものから、定期テストとか勉強をするときに、シートをかざして自分で自学自習するのに工夫された教科書だかなと思いました。意見としてお伝えさせていただきます。

奥教育長

他にございませんか。

畑谷委員

前は開隆堂出版のものですが、今回光村図書を優先する最大の理由は何でしょう。私も1位は光村図書ではなかったものですから。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

中村絵里委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の中村よりご説明いたします。

最初に示した調査の4つの観点で全てバランスがとてもよいということと、到達目標が明確であること、また、本文についても、文法重視ではなく内容重視となっており、魅力的な内容であることなどから総合的に判断し、光村図書を優先しました。

奥教育長

よろしいですか。ほかにございませんか。

赤坂委員

4つの観点が、光村図書出版が適しているということですが、6者ともそう大きな差がないと思うのですが、5年前は光村図書出版が一番下のランクでした。それが今回は1番ということで、前回との評価の基準が違う所を教えてください

中村絵里委員

現在小学校のほうで、英語教育が3、4年生から外国語活動、5、6年生で英語の教科化ということで進んでいるというところが大きく今回4つの観点として、ひとつ小学校からのつながりという辺りを見せてもらった観点になっております。その辺りでも、東京書籍も小学校からのつながりとても丁寧に扱われているのですが、今回光村図書出版につきましては、8レッスン分の内容を小学校の復習として中1の最初扱われていまして、適切に配置されていることを含めて考えさせていただいております。

奥教育長

ありがとうございます。「英語」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「英語」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「光村図書出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員5名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(英語)」は、「光村図書出版」を採択することに決定いたしました。

最後に「道徳」にうつります。審議の結果につきまして、説明をよろしく願います。

中村絵里委員

それでは、審議会の中村より審議の結果についてご説明いたします。

道徳ですが、道徳は発行者が7者でございます。

道徳では、生徒が興味・関心を持って取り組むことができるような工夫があるか、また、生徒が自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができる工夫があるかという観点で調査を行いました。

その結果、審議会としての優先順位は、「1位 日本文教出版株式会社、2位 東京書籍株式会社、3位 光村図書出版株式会社」でございます。

奥教育長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様より、答申について、質問を受けたいと思います。道徳についていかがですか。挙手の上願います。

山下委員

全部とは言いませんが、各者ともテーマごとにショートストーリーがあって、そのテーマについて考えて意見を出し合っただとめるという形で学習できるように理想的な教科書になっていると思います。今の時代にあわせてSNSの使い方やいじめを考えるなどテーマが各者あると思いました。そのような中、僕は教育出版がより使いやすいそうだったのですが、今使われているのは日本文教出版でしたか。今回も1位にされていると思うのですが、僕の中では日本文教出版が3位までに入らなかったのですが、教育出版よりも日本文教出版が優れている所を教えてくださいなど。

奥教育長

今の点について、審議会から、説明をお願いします。

中村絵里委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会の中村よりご説明いたします。

日本文教出版につきましては、漫画のイラストや挿絵が豊富であり、生徒の興味・関心をひきやすい工夫がされている点や、登場人物が分かりやすく整理されているので、生徒が本文を読み進めていきやすく、また、別冊の道徳ノートでは、生徒が主体的に考えを記述し、話し合いの中から考えを深めたり、今までの学習を振り返ったりしやすいように工夫されている点も挙げられます。

山下委員

道徳ノートですが、今現在使われていますよね。その評判はいかがですか。

中村絵里委員

今現在使っているものについては、道徳ノートに中心発問が既に記載されている状況になっております。ですが今回新しく見させてもらいますと、中心発問が記載されていないものに新しくなっております。今まででしたら、必ず中心発問でないと、道徳ノートに書きこむことができなくて、もし違う中心発問で授業をしたいということであれば、違うワークシートを作る必要があったのですが、今回そういったことも必要なくなり、汎用性が高い道徳ノートになっているという点ではとても使い勝手がいいものではないかと考えております。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

畑谷委員

国語の時にも言ったのですが、日本文教出版の総合評価⑨本文にふり仮名が多く、読み進めやすいと書いてあるように、どうしても漢字にはふり仮名があるほうが生徒たちは読み進めやすいのかなど、ふり仮名を書いて読んで読解力がつくのか、それについて考えて意見を出すという道徳本来の流れができていくためには、やはりふり仮名は大切なのでしょうか。

中村絵里委員

道徳ですので、物語が頭に入ってスタートという所がありますので、文章を読んでいくにあたって、読む段階でつまづいてしまうと授業の中にも入っていけないということもありますので、ふり仮名が多いということは生徒にとっても助けになるかなと考えております。

畑谷委員

それに関連して、どうしてもいろんな教科書を見比べてみて、私は漫画やイラストが多い教科書はちょっとと思ったのですが、生徒にとっては漫画イラストがあるほうが身近に感じて、受け入れやすいのでしょうか。

中村絵里委員

そうですね。今現在の子どもたちの状況を見た上でといったところでは、取っ掛かりとしていいのではないかと思います。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

中村委員

審議会の中村絵里委員の補足というか、ふり仮名やイラストに関する意見ですが、この今の現場の生徒さんの状況を考えると畑谷委員が思っている時代よりも、すごく外国にルーツがある生徒さんが増えているので、中学校で引っ越してきたとか、言葉に不自由な生徒さんもいらっしゃるので、国語の教科書も道徳の教科書もイラストやふり仮名が配慮されているポイントの一つなのかなど、私は気づかされました。

奥教育長

ありがとうございました。他にございませんか。

赤坂委員

少し単純な意見になるのですが、道徳だけは5年じゃなくて平成30年に採択の会議をしたと思うのですが、数年しか経っていないので、継続的にそう大きな違いというか教科書の中身の変更も各者ないと思いますので、引き続き、日本文教出版でいったほうが。これは使っていて、2年目になるのですか。来年度ですから、もし変わると、最高学年の教科書が変わることになるのですね。それよりも今現在の日本文教出版でいったほうが、最終学年の子どもたちにとってはいいのではないかと。別に内容で1位の評価をいただいている教科書ですし、日本文教出版で結構かと思っています。

奥教育長

ありがとうございました。「道徳」について他にございませんか。

無いようですので、討論に入ります。ご意見のある方は挙手の上、お願いいたします。

無いようですので、それでは、採択に入ります。

種目「道徳」につきましては審議会の答申において、推薦順位1位でありました。「日本文教出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員4名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書(道徳)」は、「日本文教出版」を採択することに決定いたしました。

以上で全種目が決定いたしました。確認いたします。

「令和3年度使用泉佐野市立中学校教科用図書」として、

- ・国語は、「東京書籍株式会社」
- ・書写は、「株式会社三省堂」
- ・地理は、「株式会社帝国書院」
- ・地図は、「株式会社帝国書院」
- ・歴史は、「東京書籍株式会社」
- ・公民は、「株式会社育鵬社」
- ・数学は、「数研出版株式会社」
- ・理科は、「株式会社新興出版社啓林館」
- ・音楽は、一般が「株式会社教育芸術社」
器楽が「株式会社教育芸術社」
- ・美術は、「日本文教出版株式会社」
- ・保健体育は、「株式会社学研教育みらい」
- ・技術は、「開隆堂出版株式会社」
- ・家庭は、「教育図書株式会社」
- ・英語は、「光村図書出版株式会社」
- ・道徳は、「日本文教出版株式会社」

以上のように決定いたしました。

神於会長をはじめ、審議会委員の皆様には、長らくのご審議、本当にありがとうございました。本
日ご出席でない調査員の方々にもよろしくお伝えください。それでは、続いて、「令和3年度使用泉
佐野市立学校教科用図書」について、事務局から説明をお願いします。

和田学校教育課学校指導担当参事

令和3年度中学校教科用図書の採択、どうもありがとうございました。

令和3年度使用教科用図書につきまして、5月の教育委員会議でご説明させていただいたことの
確認になります。

中学校につきまして、先ほど採択いただいた教科書を使用することとなります。

小学校につきましては、昨年度採択いたしました教科書を引き続き使用いたします。

説明は、以上でございます。「令和3年度使用教科用図書の採択」について、ご承認くださいます
よう、どうぞよろしく願いいたします。

奥教育長

ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

無いようでございますので、「令和3年度使用学校教科用図書の採択」については、原案のとおり
承認することとしてよろしいですか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご意義がございませんので、原案どおり承認することに決定いたします。
それでは、これをもって本日の会議は終了いたします。

(午後 4 時 45 分閉会)